

3 学年社会科（公民） 学習指導案

令和4年12月13日（火）

5校時 14:00～14:50

那覇市立松島中学校 3年 5組 31名

授業実践者 高良直人

1 学校で育てたい資質・能力

| |
|--|
| <p>(1) 学校教育全体を通して（学校教育計画P16より抜粋） <学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」> ○教科において、学ぶ知識及び技能をしっかりと習得する。また、教科と関連した社会的な出来事（事象）についても、学んだ知識を踏まえ、さらに深める考える習慣や力を身に付ける。 <生きて働く力「知識・技能」> ○社会の変化に主体的に向き合い関わり合う観点から、習得した知識及び技能を積極的に活用し、様々な問題の解決を図ろうとする思考力・判断力・表現力等を身に付ける。 <未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」> ○常に目標に向かって取り組むことや社会的出来事に対して課題意識を持ち、主体的にその解決を図ろうとする態度を身に付けるとともに、より良い人生やより良い社会づくりに向かう力を身に付ける。</p> |
|--|

2 単元の概要

| | |
|------------|---|
| 単元名 | 第5章 地球社会と私たち 2節 さまざまな国際問題 3 貧困問題 |
| 内容のまとめ | 第3学年 公民的分野 内容D（1） 「国際社会」 |
| 単元の目標 | <p>(1) 貧困が起こる状況について、本文や資料の読み取りを通して、理解している。〔知識・及び技能〕 (2) 貧困や飢餓の問題を解決するために、自分にできることを効率と公正の観点から考察し、表現している。〔思考・判断・表現〕 (3) 貧困や飢餓の問題を解決するために、自分にできることを身近な生活に置き換えて、主体的に係わろうとしている。〔主体的に学習に取り組む態度〕</p> |
| 働かせる見方・考え方 | <p>(1) 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述すること。 (2) 身近な地域や我が国の取組との関連性に着目させ、世界的な視野と地域的な視点に立って探求させる。</p> |

3 単元について

(1) 児童生徒観

3年5組は男女の仲が良く、学級全体も活気がある。先日行われた校内合唱コンクールでも金賞及びグランプリを獲得し、さらに学級の雰囲気も良くなった。受験に向けて、学習に対する意欲も高まってきており、中学校全体の中でも、模範となる学級である。

3年5組で、本単元全体や本時に関するアンケートを実施した。「SDGs について関心がありますか? =ある96%」「SDGs ①②に関して何の目標か答えてみよう。=正解率①66.7%、②62.5%」「SDGs 17の目標の課題を解決するために、自分から何か行動をしている。=行動している〇〇%」このアンケートの結果からも、5組の生徒はSDGsに関する意識が高いと感じた。もともと、学級全体で「給食残量ゼロ運動」を実践していて、意識の高い集団の集まりである。また、学級の中には、毎日の登校時に通学路のゴミ拾いを毎日欠かさず行っている生徒もいる。このことから本時の授業を通して、生徒たちの素朴な疑問や関心を引き出しながら更なる行動への意識付けや動機付けとしたい。

(2) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領公民的分野の内容D（1）に該当し、国際社会についての内容である。序章では、「SDGsから地球規模の課題について捉えよう」を扱っている。国連で2015年に採択された持続可能な開発目標（SDGs）について考えさせるとも良い教材である。

1節では、国際社会の仕組み。2節では、地球環境問題、世界の資源・エネルギー問題、貧困問題、新しい戦争、難民問題、国際社会の抱える様々な課題。3節では、「これからの地球社会と日本」を取り上げている。1節と2節の学習を踏まえて、3節では国際社会における日本の役割や個人として何が出来るのか? また、友人どうしの意見交換などを通じて、どのような解決策があるのか? を考えさせたい。

そのために、2節で取り上げている貧困問題については、「食べ残しと飢餓」「人口の急増と貧困」「世界の水問題」など、身近にある題材として考えることができる教材である。貧困や飢餓の問題はなぜ起きているのか? 貧困や飢餓の問題解決のためにできることを友人たちと話し合い、解決策を模索させる学習を展開したい。そうすることで、持続可能な開発目標（SDGs）について考え、実際に行動に移させるためのきっかけ作りとしたい。公民の学習のまとめの部分にもなる単元で、「平和で民主的な国家・社会の形成者」としての意識を高めさせたい。

(3) 指導観

教材観でも述べたように、この2節では地球規模で起きている様々な問題や課題について取り上げており、持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みを行っている本校に打って付けの教材である。特にSDGsの「①貧困をなくそう」については、ユニクロとのコラボ「服のプロジェクト」「SDGs委員会による募金活動」。「②飢餓をゼロに」については、「給食残量ゼロ作戦」「麻袋チャレンジ（コーヒー豆袋のプランター）」など、身近な開発目標として、実際に取り組み、生徒にとっても身近な問題として取り組みやすい教材でもある。

この授業においては、「貧困や飢餓がなぜ起きているのか?」「貧困や飢餓の課題を解決するためどのような取り組みが行われているのか?」を生徒自信によるプレゼンテーション制作・発表を通して、世界の現状を理解させたい。その上で、グループによる意見交流の場を設け、「貧困を撲滅するために国際社会や自分たちにできることは何か?」を考えさせたい。この授業のまとめでは、自分たちにできることを各グループで発表させて、その意見を共有して、これから、自分たちがどう歩いていくのか? どうあるべきか? を考えさせたい。

4 単元の評価規準

| 知識・技能【知技】 | 思考・判断・表現【思判表】 | 主体的に学習に取り組む態度【主体的態度】 |
|---|--|--|
| ○地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 | ○対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 | ○世界平和と人類の福祉について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に係わろうとしている。 |

5 単元の指導と評価の計画（全時間）

| | |
|-----|--|
| 前単元 | 第5章 地域社会と私たち 1節 国際社会の仕組み ①国際社会における国家 ②領土をめぐる問題の現状 ③国際社会の仕組みと役割 ④地域主義の動き ⑤新興国の台頭と経済格差 |
|-----|--|



【・】指導に生かす評価、【○】記録に残す評価

| 時間 | 学習活動(△)と児童生徒の反応(◆) | 学習を支える教師の働きかけ(□) | 【評価項目】(評価方法) <他教科> |
|----|--|---|---------------------------|
| 1 | 「地球環境問題」 △地球にはどのような環境問題があり、その解決に向けどのような取り組みが必要なのか調べる。 ◆地球温暖化や気候変動など多くの問題が起きていて、その解決に向けて様々な努力がなされている。 | □地球温暖化が起こっている理由を、本文や資料から考えさせる。 □地球温暖化問題の解決のために、世界レベルや、個人レベルで何ができるのか考えさせる。 | 【思判表】ノートのまとめ○ 振り返りシート○ |
| 2 | 「世界の資源・エネルギー問題」 △世界の資源・エネルギー問題にはどのような課題がありその解決に向けどのような取り組みが必要なのか調べる。 ◆世界の資源・エネルギー問題は多くの課題があり、その解決に向けて様々な努力がなされている。 | □化石燃料を、エネルギーの中心として使うことの問題点を本文や資料から考えさせる。 □世界のエネルギー問題の解決に、日本が果たすべき役割を「持続可能性」の観点から考えさせる。 | 【思判表】ノートのまとめ○ 振り返りシート○ |
| 3 | 「貧困問題」 △貧困問題には、どのような課題があり解決に向けてどのような取り組みが必要なのか調べる。 ◆貧困問題には、多くの課題があり、解決に向けて様々な努力がなされている。 | □貧困が起きる理由を、本文や資料から読み取り、考えさせる。 □貧困や飢餓の問題を解決するために、自分にできることを「効率」「公正」の観点から考えさせる。 | 【思判表】ノートのまとめ○ 振り返りシート○ |
| 4 | 「新しい戦争」 △戦争のない平和な世界にするために、どのような取り組みがあるのか調べる。 ◆戦争のない平和な世界にするために、どのような取り組みがあるのか調べる。 | □地域紛争を「新しい戦争」とよぶ理由を、これまでの戦争とのちがいに着目して考えさせる。 □戦争のない世界を実現するために必要な取り組みを、「協調」の観点から考えさせる。 | 【思判表】ノートのまとめ○ 振り返りシート○ |
| 5 | 「難民問題」 △難民問題の解決に向けて、どのような取り組みがあるのか調べる。 ◆難民問題の解決に向けて、世界各国が協力しながら様々な努力がなされている。 | □難民とは、どのような人々のことを指しているのか？本文や資料から読み取り、考えさせる。 □難民問題解決に必要な取り組みを、「持続可能性」「協調」という観点から考えさせる。 | 【思判表】ノートのまとめ○ 振り返りシート○ |



| | |
|-----|--|
| 後単元 | 第5章 3節 これからの地域社会と日本 ①世界と協力する日本 ②よりよい地域社会を通して |
|-----|--|

6 本時の学習指導について

(1) 目標

- 世界各地で起きている人口増加や食糧供給の偏りなど、様々な要因が重なり合って貧困問題が発生していることについて理解し、その解決策を考える。
- 貧困問題解決に向け、どのような取り組みが必要なのか？友人たちと意見交流を行い実際に何ができるのか考える。

(2) 授業仮説

- 友人のプレゼン発表や、アドバイザー、各資料等から、貧困問題が起きている理由について理解することができるだろう。また、学んだ知識から、貧困問題の解決策についても自分自身の考えをもつことができるだろう。
- 貧困問題解決に向けて、友人達との意見交流を通じて、課題解決の取り組みについて考えることができるだろう。

(3) SDGsとの関連項目

- SDGs 1 「貧困をなくそう」 あらゆる場所で、あらゆる携帯の貧困に終止符を打つ。
- SDGs 2 「飢餓をなくそう」 飢餓に終止符を打ち、食料の安全確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。
- SDGs 6 「安全な水とトイレを世界中に」 すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。

(4) ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

| ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度 | 関連 | 内容 |
|---|----|---|
| ① 批判的に考える力 (批) 合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協動的、代替的に思考・判断する力 | | この授業の学習指導で特に重視する3つの能力・態度 ④コミュニケーションを行う力 貧困や飢餓の問題解決にむけて、どのような取り組みが必要なのか?どのような取り組みができるのか?友人たちと意見交流を通して、積極的にコミュニケーションを行う力を育成する。 ⑤他者と協力する態度 貧困や飢餓で苦しんでいる人々のことを考え、その人たちの目線に立って、自分自身に何ができるのか?他者と協力しながら物事を進めていく態度を育成する。 ⑦進んで参加する態度 貧困や飢餓などの国際問題などについて、しっかりと考え、自分自身の行動に責任を持ち、身近な所から自分ができる取り組みや、役割を考え、自主的に・主体的に社会に参加していく態度を育成する。 |
| ② 未来像を予測して計画を立てる力 (未) 未来像を予想して計画を立てる力過去や現在に基づき、あるべき未来像(ビジョン)を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力 | | |
| ③ 多面的・総合的に考える力 (多) 人・ものこと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり(システム)を理解しそれらを多面的、総合的に考える力 | | |
| ④ コミュニケーションを行う力 (コ) 自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力 | ○ | |
| ⑤ 他者と協力する態度 (他) 他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度 | ○ | |
| ⑥ つながりを尊重する態度 (つ) 人・ものこと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度 | | |
| ⑦ 進んで参加する態度 (進) 集団や社会における自分の発言や行動に責任を持ち、自分の役割を踏まえた上で、ものごとに自主的に・主体的に参加しようとする態度 | ◎ | |

(5) 展開 (第3時)

| | 学習活動 | 教師の働きかけ (□) 予想される児童生徒の反応 (◆) | 評価規準 【評価項目】 (評価方法) |
|-------------|--|---|---|
| 導入 (10分) | 1 問題把握 ○アンケートの結果を踏まえながら、貧困・飢餓に関することの授業の準備をする | □積極的にアイスブレイクに参加できるように声かけをして、主体的に授業へ参加する雰囲気づくりを行う。 ◆楽しいワークショップ楽しい。 ◆貧困・飢餓に関する差の激しさにビックリ。 | |
| 展開 (30分) | 2 めあて | | |
| | 3 各種資料の確認 (1) 人口の増加と貧困 人口増加と貧困の関連を理解する (2) 世界の貧困問題 日本と貧困国の格差を理解する (3) 世界の水問題 貧困国の水問題と発展途上国との関連を理解する (4) 発展途上国の自立に向けて フェアトレード マイクロクレジットを理解する | □貧困に関する各種資料等を提示、それぞれの課題について理解させる。(ワークシート⇒宿題) (1) 人口の増加と急増 人口増加と栄養不足人口の世界の割合について理解させる ◆こんなにひどい状況があるのか?知らなかった。 (2) 世界の貧困問題 日本と貧困国の格差を理解させる ◆裕福な日本に生まれて自分はまだ、幸せだな。 (3) 世界の水問題 (生徒プレゼン) 貧困と関連がある水問題について理解させる ◆普通に水が飲めない国、使えない国があるんだ…。 (4) 発展途上国の自立に向けて フェアトレードとマイクロクレジットについて理解させる ◆こんな取り組みがあるんだ。自分も協力してみようかな。 | (ワークシート) 【知理】 生徒のプレゼンを聞きながらワークシートを記入して、それぞれの課題を理解している。 |

| | 学習活動 | 教師の働きかけ (□) 予想される児童生徒の反応 (◆) | 評価規準 【評価項目】 (評価方法) |
|-------------|---|---|---|
| | 4 話し合い活動 「貧困や飢餓の問題解決に向けてどんな取り組みができるのか考えてみよう」 | □身近な取り組みとしてできることを考えて付箋紙に書く。 □付箋紙に意見を書き、グループで共有する。 ◆みんなで決めたことなので、協力しながらやってみよう。 □各グループに発表してもらおう。(ホワイトボード・黒板) ◆こんな意見や考え方があった。面白い。 [努力を要する児童生徒への働きかけ] □話し合いに積極的に参加できるように声かけフォローする □板書や教科書等の資料に目を向けさせ、重要語句を理解させる。 | |
| 終末 (10分) | 5 まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">世界から貧困や飢餓を無くするために、食べ残しをしない。 身近な地域の取り組みで、子ども食堂や教育的支援などの活動を行いたい。 フェアトレードの商品を選んで購入したりする。…等 生徒の意見から出たものを採用</div> | | 【思考判断表現】 (振り返りシート) 社会の変化に主体的に向き合い関わり合う観点から、習得した知識及び技能を積極的に活用し、他者と共同して様々な問題の解決を図ろうとする思考力・判断力・表現力等を身につけている。 |
| | 6 振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">貧困や飢餓が様々な要因で起きていて、世界中の現状を知ることができた。 その人々を救うために、SDG sなどの取り組みを積極的に行っていきたいと思った。</div> | | |

7 評価 (ESDの視点から)

(1) 視点 (生徒の評価) ※上記1「学校で育てたい資質・能力」の(1)との関連

<学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」>

常に、目標をもって取り組むことや社会的出来事に対し、課題意識を持ち、主体的にその解決を図ろうとする態度を身につけ、より良い地域・社会づくりに向かう力を身につける。

⇒ワークシート・付箋紙・振り返りのフォームへの記入を通して社会的出来事に対して課題意識を持って、主体的に「貧困」や「飢餓」などの問題などについて、考えている。

⇒ワークシート・付箋紙・振り返りのフォームで「貧困」や「飢餓」などの問題について考え記述しているかを確認する。

<未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」> (本時)

社会の変化に主体的に向き合い関わり合う観点から、習得した知識及び技能を積極的に活用し、他者と共同して様々な問題の解決を図ろうとする思考力・判断力・表現力等を身につける。

⇒友人のプレゼン発表やワークシートなどで「貧困」や「飢餓」の問題について理解した上で、持続可能な社会を作る視点など社会の変化に主体的に向き合い、関わり合う観点で、問題の解決を図ろうとしている。

⇒グループでの話し合いの様子や発表内容を確認する。

8 板書計画

| | |
|--|---|
| <p>貧困問題～公正な世界を創る～ P 198～199</p> <p>めあて 貧困や飢餓の問題に対して身近な所から、どのような取り組みができるのか？みんなで考えてみよう。</p> <p>【人口の増加と貧困の関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発展途上国の急激な人口増加 ○経済の発展が老津科に状況 <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">資料 人口増加率</div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;">資料 ハンガーマップ</div> </div> <p>【今日の授業のキーワード】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料 貧困</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料 飢餓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料 FOODロス</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料 水問題</div> </div> <p>貧困 1日の生活費1.9ドル(200円)未満で生活をしている人々 飢餓 栄養不足が長く続き生命の維持にも深刻な状況 なぜ？起きている？ 紛争・自然災害・経済格差……</p> | <p>【発展途上国の自立に向けて】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料 フェアトレード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料 フェアトレード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料 マイクロクレジット</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料 SDG s</div> </div> <p>☆グループワーク「貧困や飢餓の問題に対して、身近な所で自分たちにできることはなんだろう？」</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; width: 30%;">意見</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; width: 30%;">意見</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; width: 30%;">意見</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; width: 30%;">意見</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; width: 30%;">意見</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; width: 30%;">意見</div> </div> <p>まとめ 貧困や飢餓は様々な要因があつて、起きている。その課題解決のために身近な所からできる取り組みを行っていかねばならない 振り返り 各自、フォームにて提出</p> |
|--|---|